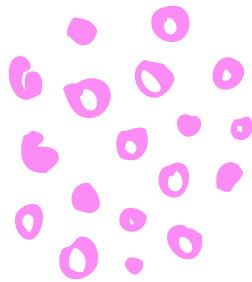


ゆりいか通信

第6号

令和6年10月



不登校対応における教員の葛藤

不登校対応の目的は学校に戻すことではないということ。はだんだん知られてきました。が、その本当の意味や目指すところが理解して対応されている教員がどれだけいるのかわかりません。それを頭で理解することはできても、心の底まで理解することは教員にとってはとても難しいことだと思っています。

私自身、我が子が不登校になる前は一般的な教員と同じような認識だったかもしれない。学校に来られないという生徒には登校を無理強いせず、スクールカウンセラーや相談機関、医療機関につなぐことが一番有効だと思っていた。ところが、専門家の見立てによって、方向性が出てくるのを待つというような感じだったのだろうと思います。

不登校対応の根底にある「学校に来なくてもいいよ」という言葉は学校に勤めるものとして違和感があります。子どもたちの育ちに最適なことをフルパワーで毎日行っているのですから、自分がかか

しいと思うのは当然です。「参加してもしなくてもよいこと」を仕事としているとは思っていないからです。熱が出ているとか、骨折しているというような目に見える原因がなく、いつまでという目途も立たない状態です。と休ませておくことが最善の策とは感じられないのが本音ではないでしょうか。

「無理して学校に来なくていいよ」と言いながらも、「学校に来ればいいのに」という本音が透けて見えてしまう事がよくあります。それは全力で作った料理を毎日三食運んで出しているのに一口も食べてくれない状態を見守り続けているのと似ているかもしれません。「無理して食べなくていいよ」とは言うでしょうが、「食べないと栄養がつかないのに」と思うかもしれません。

では、登校についてどのように捉えればよいのでしょうか。そのことについて私なりの考えを次号でお伝えしてみたいと思います。

恩庄 香織

Our Activities



ぶらつと ????イベント

ぶらつとでは、そろそろ何かイベントをやりたいねという話になっていきます。まだまだどんなイベントになるかわかりませんが、若者たちの動きを楽しみに見守ろうと思っています。

ただ、周りの大人が焦った期待しすぎるたりするといけないので、ゆるゆると話が進んでいく様子をふんわり見守っていかうと思っています。

9月のフラツペ

【不登校の将来設計】

9月15日1時半から、「不登校の子どもの将来設計」と題して交流会を行いました。

不登校の子どもの行く道は他の子供以上に多様です。また、心のエネルギー量が日々変化するため、目標を掲げてそれに向けて進むという一般的な将来設計が合わないことも多いのです。そういった内容をご説明し、「今」を起点に「今持っているもの」「今使えるもの」「心が動くもの」を方位磁石として一歩一歩あるいは半歩半歩いようなお話をしました。

目標を立てて計画を立てるといふ教育を受けてきた周りの大人たちが、どれくらい考え方を換えられるかが重要であると思えます。

ゆりいかパーソナル#

ゆりいか研究会では、学校現場での不登校理解を進めるために活動を行っています。お忙しい先生方を対象に無料オンライン勉強会を行っています。

ゆりいかシートは、原因が分かりにくい不登校に対し、何をすればよいかを考える有効なツールです。

ぜひご利用ください。

遠隔授業スペース

フェルマータ

学校に足が運ばない高校生が、学校以外でも授業を受けられるように遠隔授業受講スペースを準備しています。

高校では授業に出席しなければ卒業進級に影響が出てしまいます。学校勤務経験者が対応することで、出席認定していただけのことを目指しています。

気になることがありましたら、ぜひお気軽にお声がけください。

Thanks to

THE PEOPLE WHO WARMLY SUPPORT US

支援者の皆様（支援者一覧・順不同）

多喜誠子さま、杉本さま、宮坂 修平さま他 クラウドファンディングおよび
その他の形での寄付をしていただき、ありがとうございました。

なお、campfire community において、クラウドファンディングを行って
おります。また直接の寄付も受け付けております。どうぞお声がけください。



今月のコラム

今月は、ゆりいか研究会のメンターボランティアによるコラムです。

家庭科を伝えたい気持ちです

「先生、豚肉は冷蔵庫にありますか？」
ザルを持った生徒が教卓の辺りをうろち
よろしています。（煮物をするおとし蓋を
豚肉と間違えている様子）。「先生、大変
です〇〇さんが、お米を洗剤で洗ったは
る」。私が大学卒業と同時に、就職した高
等学校の調理授業のエピソードです。当
時は生徒急増期にあり私は新卒でも2年
15組49人の担任に兼任して、授業の
準備と生徒指導に奮闘して、毎日無事に
学校生活を送るのがギリギリという生活
を送っていました。それでも家庭科の授
業は好きと言ってくれた高校生が多くて
家庭科は、教室で各々の家庭生活をシエ
アして互いに学ぶことができるところが
良いと考えていました。大人の皆さんは
高校の家庭科の授業を覚えていますか？
高校生の方は家庭科が好きですか？
その後、結婚して3人の子供を授かり、
教職を退職しましたが、数年して近所の
小学校にご縁をいただき、全科何でも担
当をして、小学校畑を歩いていました。
日本の学校教育は、何を学ぶかというこ
とは明確で、さらに各学年に緻密に分け
られていきます。しかし、それをどう学ぶ
かいつ学ぶか、どこで学ぶかということ
は出会いであると感じていました。

から人々は非難を余儀なくされました。
報道でその映像を何度も見た時、大災害
から逃れて、人々は人とながり、衣食
住生活を送っているという事柄の再認識
をして、私は自分の胸が震えるのを感じ
ました。どんなに変化し多様化した社会
においても、変わらない大切なことがあ
る、それが人間にとって本当に大切なこ
とだと思ふのです。家庭科を伝えたいと
いう気持ちを持つ原動力となりました。
この夏休み8月に、「食と戦争」という
藤原辰史先生の講演会に参加してしまし
た。爆撃はテレビで放映されますが、現
代の兵糧攻めが地球の上で現実起こっ
ていることを知っていますか。そんな大
きな視野で勉強すると、心配事は本当に
なんとかなる気持ちになるものです。ま
た、平和のために自分にできることは何
かな？という視点に立つことができます。
身近な地元の野菜を使って簡単バージョ
ンでおにぎり、ピザや調理パン、クッキ
ー等の調理をすることは楽しくて、少し
の道具があればできます。また、無心に
なって刺繍、折り紙、消しゴムはんこ、
気仙沼由来のドイツのカラフル毛糸で編
物等もできます。こりす西陣（ふらっと）
でやってみたいと思う方がいらっしやい
ましたら、お声がけください。一緒にし
ましょう。楽しく生きる力がつくと思ふ
のです。ふらっと・フェルマータにつな
がってください。

大崎 あづさ



金鶏鳥

宮美遊

幼少期（四）

田んぼの畦道（あぜみち）の傍（はた）には、菜種油を採った後の菜種ガラが、焚（た）き付けにする為に、畑と道端の間に干されていた。菜種ガラはホタル狩りによく使われた。竜太は、それを数本手に持って歩いていく。すると他の子たちも真似（まね）して、菜種ガラを振り回す。

「ホー、ホー、ホータル来い、あっちのミーズはニーガイゾ、こっちのミーズはアーマイゾ、あーまい、ほーへ 飛んで来い」と大きな声で歌いながら、最年長の竜太を先頭にゾロゾロと歩いた。その後ろを一番小さい信男が辰郎に手を引かれて歩き、さらに茂（しげる）と修（おさむ）が続いた。豊（ゆたか）と敬（たかし）が並んで一番後ろを歩いていく。

民家から離れると、田んぼ脇の道沿いにはホタルが飛んでいることがよくある。けれど今日はホタルの姿がほとんど見られない。そこで、いつもたくさんホタルのいる祓川（はらいがわ）まで歩いていった。けれど、そこにもホタルの姿はなかった。

「今日はおらんなあ」とキョロキョロ探していた竜太が言う。

「つまらんなあ」と辰郎が役に立たない菜種ガラをソツと足元に捨ててつぶやいた。するとみんなもガツカリして、菜種ガラを捨てて無口になった。

この小説は、明治・大正・昭和と激動の時代を乗り切った実在の人物をモデルとした小説です。先行き不透明な現代を生きるヒントが得られるような気がします。コゴロにて先読みができるようになりなさい。「宮美遊」で検索してみてください。

絵：落葉画廊

編集後記

ようやく涼しくなり一息つけるようになりました。在職中生徒の「クーラーつけて」から「暖房つけて」までの日数が短くなっていたことを思いだし、この気候をしっかりと楽しんでおこなうとちやちやと思っています。

（恩庄か）

おしらせ

★フラッペ

次回フラッペは10月20日午後に行います。消費者センターの方を講師にお招きして悪徳商法に騙されないように学びを深める予定です。詳細はウェブサイトをご覧ください。

★不登校の相談、ゆりいかパ

ーソナルを随時受け付けております。オンラインでも挑戦してみようと思っておりますので、よろしければぜひご利用ください。申し込みについては研究会のサイトをご覧ください。